

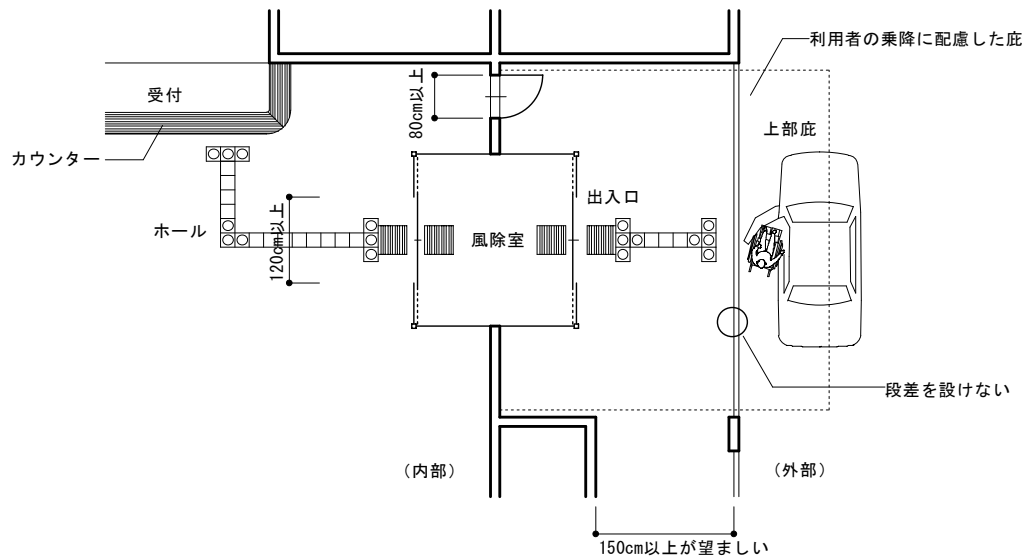
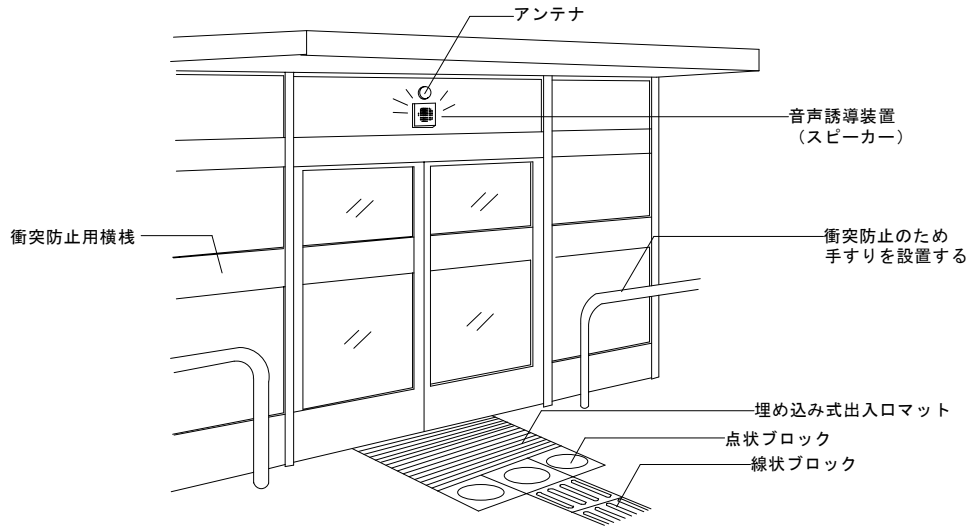
## 2. 3 建築物の出入口

### ◆設計の考え方◆

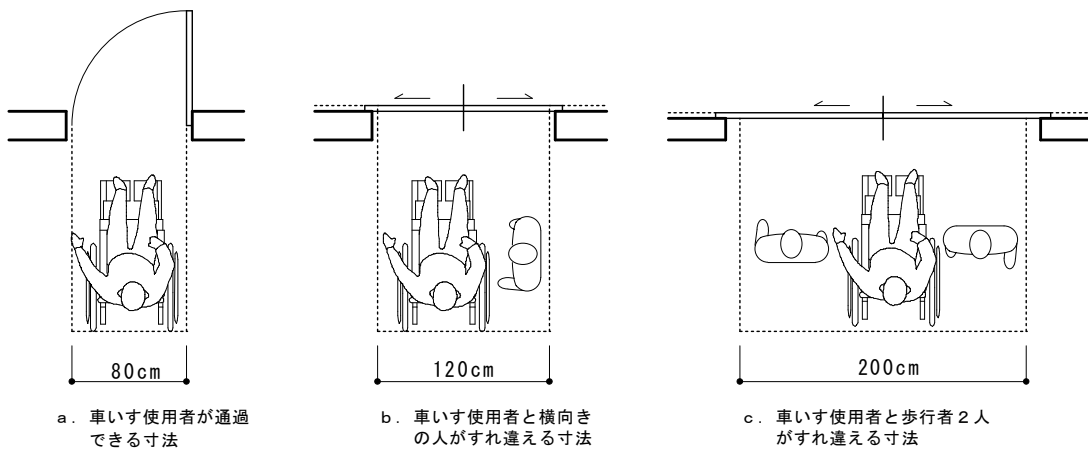
- ・建築物の主要な出入口においては、高齢者・障害者等が、安全かつ円滑に通過できること、建築物や施設に関する情報が適切に表示されていることが重要である。
- ・高齢者・障害者等が、施設の利用に際して、情報や援助を必要とした場合に対応できるよう従業員の配置等の準備をしておくことが求められる。
- ・設計にあたっては、建築物の用途や管理の仕方、利用状況等を十分に想定する必要がある。
- ・車いす使用者に配慮して、建築物の入口においては、段差を設けないことが原則であり、地形等によりやむを得ず設ける場合には、傾斜路や昇降機を設置する。傾斜路や昇降機の設置については、他の利用者との公平性など計画段階で十分に検討を行う必要がある。

● 建築物出入口の設計標準

建築物の出入口 1



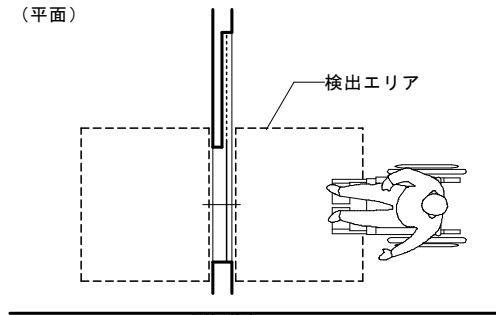
● 出入口の有効幅員の考え方



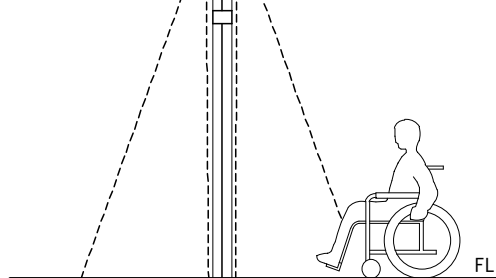
● 玄関廻りの設備・備品

建築物の出入口 2

a. 光線式反射スイッチ  
(平面)

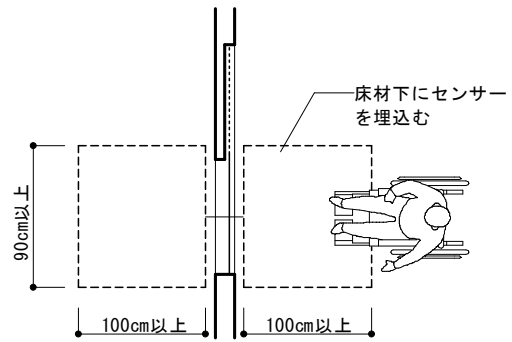


(側面)

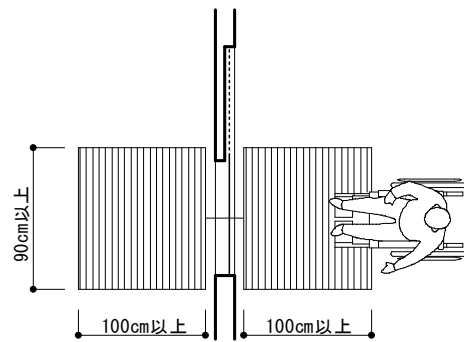


※透過型の光線スイッチもあるが、主として工場、倉庫等で間口が広い場合に使われる

b. 床埋込センサー式スイッチ

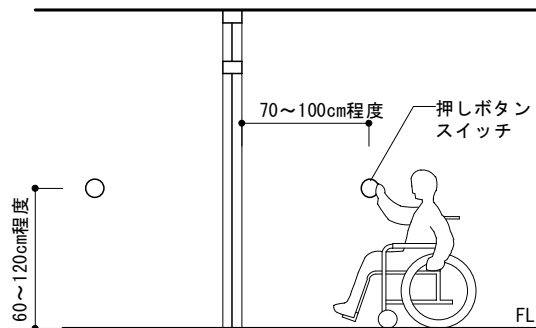


c. マットスイッチ

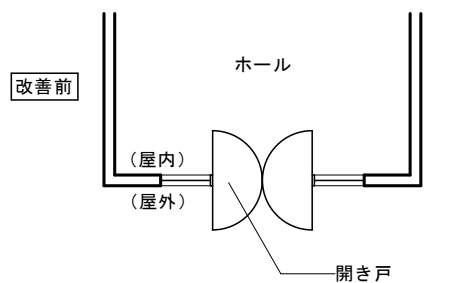


d. 押しボタンスイッチ

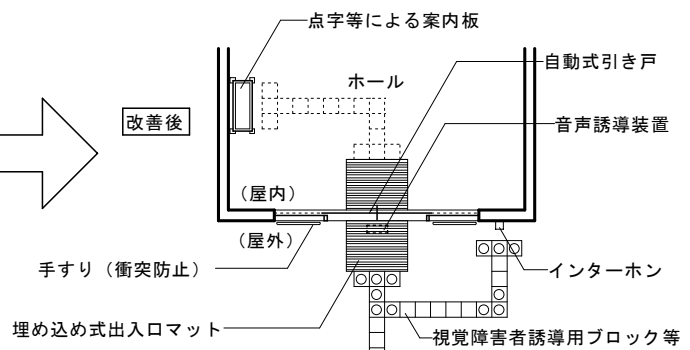
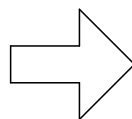
・戸に直接つけたスイッチは、車いすでは接近しにくいので、脇に副スイッチも設置する



● 改善例 1



改善前



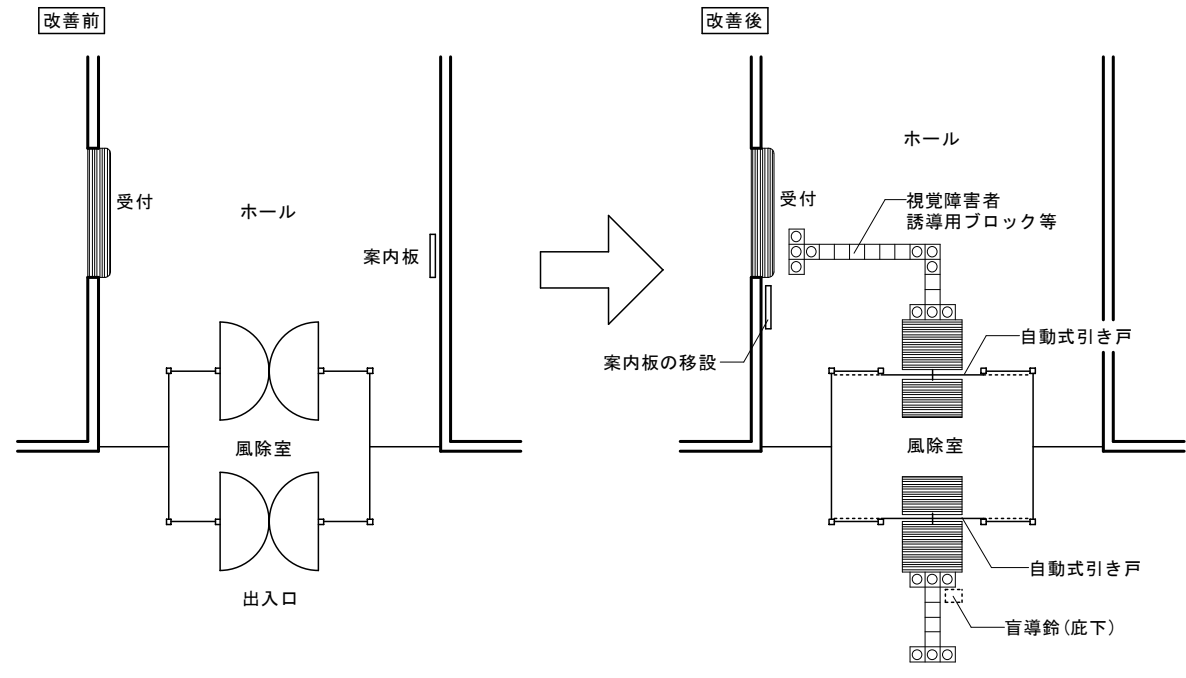
改善後

- ・ 出入口が開き戸の場合
- ・ 高齢者・障害者等への配慮がない場合

- ・ 出入口を開き戸から自動式引き戸へ変更する
- ・ 視覚障害者誘導用ブロック等を敷設する
- ・ 点字等による案内板を設置する
- ・ 音声誘導装置を設置する
- ・ 衝突防止のための手すりを設置する
- ・ ホール内は必要に応じて視覚障害者誘導用ブロック等を敷設する

## 建築物の出入口 3

### ● 改善例 2



- ・ 出入口が開き戸の場合
- ・ 高齢者・障害者等への配慮がない場合
- ・ 受けがある場合

- ・ 自動式引き戸に改善する
- ・ 視覚障害者誘導用ブロック等を敷設する
- ・ 音声誘導装置を設置する
- ・ ホール内は必要に応じて視覚障害者誘導用ブロック等を敷設する